

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし) 最近の運用状況と今後の見通しについて

2016年2月16日

平素は、「ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドの最近の運用状況と今後の見通しについて、お知らせいたします。

【為替ヘッジあり】

◀ 基準価額・純資産の推移 ▶

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2016年2月12日現在

基準価額	9,523 円
純資産総額	108億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1か月間	-5.3 %
3か月間	-5.4 %
6か月間	----
1年間	----
3年間	----
5年間	----
年初来	-4.8 %
設定来	-4.8 %



【為替ヘッジなし】

◀ 基準価額・純資産の推移 ▶

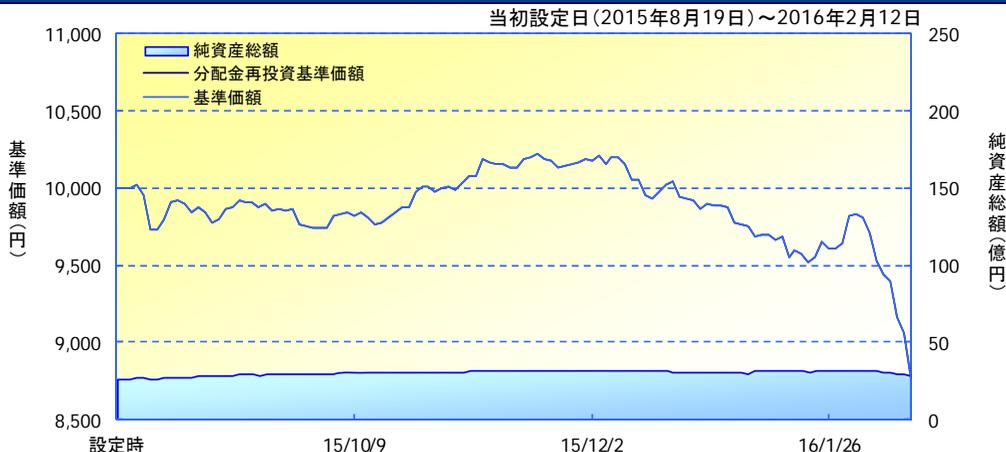
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2016年2月12日現在

基準価額	8,773 円
純資産総額	28億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1か月間	-9.6 %
3か月間	-13.6 %
6か月間	----
1年間	----
3年間	----
5年間	----
年初来	-11.3 %
設定来	-12.3 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

＜最近のハイブリッド証券市況＞

2016年に入り、中国人民元や原油価格の下落などを背景に世界的にリスク回避の動きが広がり、株式市場をはじめ金融市場全般が軟調に推移しています。特に欧州の株式市場では、バランスシートの健全性で劣後するユーロ周辺国の金融機関や、欧州の一部銀行の決算が悪化したことが材料視され、銀行株の下落が顕著な状況にあります。

これらの銀行株が下落する中で、資本性の高いハイブリッド証券の価格は株価との相関が高い傾向にあることから、年初より下落傾向にあります。中でも、将来のクーポン支払いに懸念が生じたドイツ銀行が発行するハイブリッド証券の価格が下落しています。ハイブリッド証券を資産別で見ると、資本性が相対的に高く需給面でも発行が続いているCoCo債の価格が相対的に大きく下落しています。

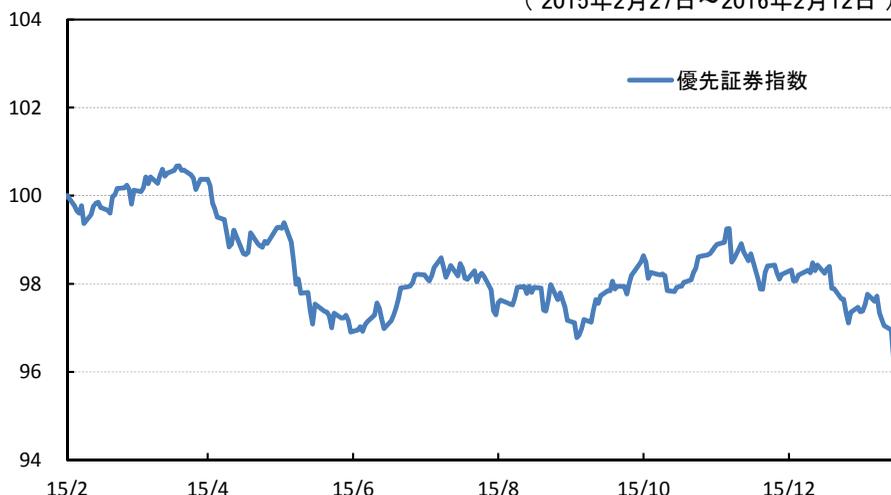
＜最近の為替市況＞

米ドルや英ポンドは、2016年に入ってから、1月末に日銀が追加の金融緩和策を発表したことなどから一時的に対円で上昇する場面もありましたが、総じて下落基調となりました。この背景には、中国の景気減速や米国経済に対する懸念、原油価格の下落に加え、世界的な株式市場の下落を受けた投資家のリスク回避姿勢の強まりなどが挙げられます。

このような環境下、年初来の騰落率は2016年2月12日時点で、「為替ヘッジあり」は-4.8%、「為替ヘッジなし」は-11.3%となっております。

（参考）優先証券指数の推移

（2015年2月27日～2016年2月12日）



※優先証券指数は、パークレイズ・グローバル優先証券インデックス(日本円ヘッジ・ベース、2015年2月末を100として指数化)のデータを使用しています。使用したパークレイズのインデックスは、パークレイズ・バンク・ビーエルシーおよび関連会社(パークレイズ)が開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、世界の投資適格優先証券市場のパフォーマンスをあらわします。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はパークレイズに帰属します。

(出所)パークレイズ

＜今後の見通しおよび運用方針＞

世界経済は、足元で金融市場に動揺が見られるものの、先進国経済が回復し新興国の景気減速に歯止めがかかることで緩やかな成長が続くとみています。FRB(米国連邦準備制度理事会)は事前の予想どおり政策金利を正常に戻す過程に入りましたが、足元の市場の混乱の影響を見極めるために、早期の追加利上げを見送る可能性が高まっているとみています。

各国で銀行に対する資本規制が強化される中で、各銀行はリスク資産の削減を進めています。中でも、主要各銀行のバーゼルⅢ規制下での中核的な自己資本比率は上昇していることから、銀行のファンダメンタルズは改善する方向にあると考えています。また、発行体の資本拡充が進展する中で、CoCo債を含むハイブリッド証券市場では、投資家層のさらなる拡大も予想されます。

年初来のスプレッド(国債との利回り格差)の拡大から現在のハイブリッド証券の価格は割安な水準にあるとみており、市場のリスク回避的な姿勢が後退すれば、今後のハイブリッド証券市場は堅調さを取り戻すと考えております。

今後の運用にあたっては、財務の健全性に向の上の実績が見られる米国の銀行のほか、財務状況の改善に取り組んでいる英国や欧州主要国の銀行に引き続き着目しています。銘柄選定にあたっては、ファンダメンタルズ対比で割安感の高まったとみられる銘柄を引き続き慎重に選択していく方針です。

以上

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。

- CoCo 債を含むハイブリッド証券に投資します。

- G-SIFIs に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資します。

ハイブリッド証券とは

- ◆ハイブリッド証券とは、債券と株式の性質を併せ持つ（ハイブリッド）証券であり、劣後債および優先証券があります。
- ◆一般に国債や普通社債と比較して、信用リスクおよびハイブリッド証券固有のリスクにより、利回りが高いという特徴があります。
- ◆CoCo 債以外のハイブリッド証券においても、規制当局から実質破綻とみなされた場合に、強制的に投資家が損失を負担する条項が付帯されている証券があり、CoCo 債と同様の損失負担リスクがあります。

CoCo 債とは

- ◆発行体である金融機関が規制当局から実質破綻とみなされたり、自己資本比率があらかじめ定められた水準（トリガー）を下回った場合に、強制的に投資家が損失を負担する条項（CoCo 条項）が付帯されているハイブリッド証券です。
- ◆CoCo 条項が発動した場合、①元本の一部または全部がき損する、または、②強制的に発行体の普通株式に転換されるリスクがあります。
- ◆そのため CoCo 債は、相対的に利回りが高い傾向にあります。

2. 運用は、アライアンス・バーンスタインが行ないます。

- ポートフォリオの構築にあたっては、原則として、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定します。

3. 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのファンドがあります。

「為替ヘッジあり」

- 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

※ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

「為替ヘッジなし」

- 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

※基準価額は、為替変動の影響を直接受けます。

- スイッチング（乗換え）について

- ◆「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」との間でスイッチング（乗換え）を行なうことができます。



- ◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）：為替ヘッジあり

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）：為替ヘッジなし

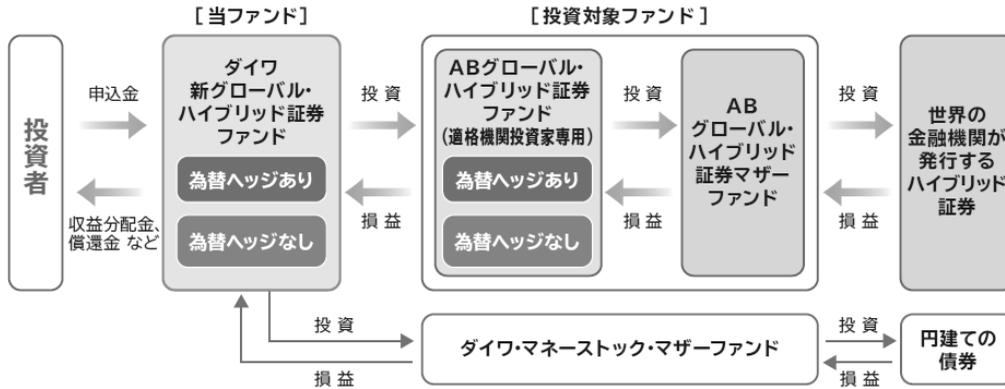
- ◆各ファンドの総称を「ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド」とします。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
- 投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券に投資します。



※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「ハイブリッド証券の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「ハイブリッド証券固有のリスク（劣後リスク（法的弁済順位が劣後するリスク）・繰上償還延期リスク・利払繰延リスク・損失負担条項に伴うリスク）」、「公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「特定の業種への集中投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ハイブリッド証券に関する規制や基準の変更等がハイブリッド証券市場に大きな影響を及ぼす可能性があります。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限)3.24%(税抜3.0%) スイッチング(乗換え)による購入時の申込手数料については、販売会社にお問合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.269% (税抜 1.175%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.5724% (税抜 0.53%)	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.8414% (税込) 程度	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」に記載しています。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会